

# AKAYA PROJECT

赤谷プロジェクト地域協議会 / (公財) 日本自然保護協会 / 林野庁関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センター

## 赤谷の森だより

2016.08.01

vol. 32

林床に佇む森の妖精  
ギンリョウソウ



トピックス

● 地域と繋がる赤谷プロジェクト

環境省 長野自然環境事務所

谷川自然保護官事務所 自然保護官 木村 元

● たくみの里「森の恵みと学びの家」から

市毛 亮

赤谷の森でわかったこと

「クマタカを指標とした

森林管理に関する提言」

赤谷森林ふれあい推進センター 所長

魚住 悠哉

赤谷の森ミニ写真館!

今回のテーマ 赤谷の森で出会う花たち (春~初夏)

赤谷プロジェクト・サポーターにご協力いただきました。



カタクリ



フデリンドウ



タマガワホトトギス



トウゴクミツバツツジ

赤谷の森で  
わかつたこと

# クマタカを指標とした 森林管理に関する提言



茂倉沢を飛ぶクマタカ



子育て中のクマタカ



営巣地の茂倉沢では天然林と人工林が混在

クマタカは、森林生態系の食物連鎖の上位に位置し、森林に生息する様々な中小型動物を獲物としている大型の猛禽類です。クマタカの生息環境を保全することは、その地域に生息・生育する野生動植物の多様性と豊かさを保全することにつながります。さらに、クマタカは北海道から九州まで様々な植生の森林地帯に連続して広く分布しているため、クマタカが安定して生息できる環境が存在していることは、森林を構成する植生の種類にかかわらず、中小型動物が豊富に生息し、かつ、クマタカが狩りをすることのできる林内空間を有する森林環境が保全されていることの指標になると考えられます。

赤谷プロジェクトでは、生物多様性の豊かさを指標とする野生動物であるクマタカの繁殖状況や狩りをする場所などについて継続的に調査を行ってきました。こ

れらの調査結果に基づき、今回、赤谷プロジェクト・猛禽類ワーキンググループは、「クマタカを指標とした生物多様性の保全に資する森林管理——赤谷プロジェクトからの提言——」を取りまとめました。

■赤谷センターホームページ  
[http://www.rinya.naff.go.jp/kanto/akaya\\_fc/kumat\\_akashirinkanri.html](http://www.rinya.naff.go.jp/kanto/akaya_fc/kumat_akashirinkanri.html)

この提言書は、クマタカが安定的に生息して繁殖を継続することができる生物多様性に富む豊かな森林環境を維持・向上させること、かつ、森林資源の持続的な利用を実現することに役立つ、具体的な森林管理の考え方と方法を提案しています。

この提言書で示している森林管理の具体例は、他の地域の森林にも応用できるものと考えられますので、今回の提案を参考として全国各地でクマタカを指標とした森林管理が実践されていくことを期待しています。



関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センター 所長

うおずみ ゆうや  
魚住 悠哉

お知らせ

## 赤谷プロジェクトに関するイベント予定

### ■赤谷の森学校 自然探検隊

開催日：H.28.8.8(月)～10(水)

【山の日制定記念】

### ■赤谷の森へ巨樹・巨木を見に行こう!

開催日：H.28.8.27(土)

### ■赤谷の森自然散策(秋)

開催日：H.28.10.23(日)

- ・赤セ主催イベントの詳細等は準備ができ次第赤セHPで掲載いたします。
- ・赤谷の森学校主催イベントの詳細は、下記サイトにアクセスしてください。

<http://www.jugemusha.com/akayamori/index.html>

## 赤谷森林ふれあい 推進センター所長から



今年4月より藤澤前所長の後任として着任しました魚住悠哉(うおずみゆうや)です。

元々、自然や動物、山登りが好きで林野庁の仕事を選んだので、森林生態系を保全する赤谷プロジェクトに取り組むことができ光栄です。みなかみ周辺は素敵な山も多いので仕事にプライベートに山歩きをして健康になると思います。

さて、今年も夏山シーズンになりました。赤谷の森には自然散策や登山で人気の山もありますが、最近、一部利用者が歩道以外の場所を走るなどして高山植物に悪影響が出ているという話を地元の方から聞きました。貴重な自然環境を守りながら楽しめるよう、地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っています。

## 地域と繋がる赤谷プロジェクト



環境省 長野自然環境事務所  
谷川自然保護官事務所

自然保護官  
木村 元

### 自己紹介とお仕事の内容を教えてください。

環境省の現地事務所である谷川自然保護官事務所では、国立公園の管理をしています。谷川自然保護官事務所は、平成27年4月に上毛高原駅前のみなかみ町観光センター2階に開設され、上信越高原国立公園の谷川地域と苗場地域を管轄しています。自然保護官と自然保護官の補佐をするアクティブレンジャーの計2名が配属されています。谷川地域においては、谷川連峰や三国山、赤谷の森を含む範囲が国立公園に指定されています。



開設された谷川自然保護官事務所

国立公園は、日本を代表する優れた自然の風景地を保護しながら適切な利用をすすめています。保護の面では国立公園の土台となる公園内の規制の度合や利用施設の位置などを



登山者カウンターのメンテナンス

決める公園計画の見直し、国立公園内での行為許可事務を行っています。利用の面では、国立公園を利用するための施設の認可事務の他に、環境省で整備した山小屋や登山道などの維持管理、現場の巡視による状況把握のほか、他の行政機関などが実施する事業に協力しています。

### 赤谷プロジェクトとの関係を教えてください。

赤谷プロジェクトも国立公園も生物多様性を保全するという共通目標があります。自然保護官として赤谷プロジェクトの企画運営会議に参加させていただいているほか、自然に関する情報交換をしたり赤谷プロジェクトのイベントに参加させていただいたりしています。地域と国有林、自然保護団体が一体となって地域に根ざした活動を継続的に行っている例は全国的にも少ないですし、専門家の意見を取り入れながらモニタリングや評価といったプロセスを具体的に進める活動は素晴らしいと思います。

### 最近特に取り組んでいる課題などはありますか？

みなかみ町ではエコツーリズムに精力的に取り組んでいるほか、ユネスコエコパークの登録に向けて作業が進められています。国立公園としてもこれらの取組と協力し、より良い地域作りのために、多くの利用者が訪れる土合地区の再整備を計画しています。利用拠点としての情報提供施設を整備することも想定しながら、エコツーリズム等で周遊利用がしやすいよう整備を行っていく予定です。

### 地域への思いや赤谷プロジェクトへのご意見・リクエストなどありましたら一言！お願いします。

谷川連峰は標高2000m級でありながら森林限界が低く、3000m級の高山景観を眺められる貴重な山々です。今後もこの貴重な景観を未来に引き継いでいけるよう保全していきたいです。

谷川連峰の一部である三国山、平標山、仙ノ倉山とそれらの山麓にある生物多様性豊かな赤谷の森はつながっています。赤谷プロジェクトでは、赤谷の森を通じて谷川連峰周辺の素晴らしい自然を貴重な地域資源として保全し利用していただきたいと思っています。



遙かなる谷川連峰

## たくみの里

## 「森の恵みと学びの家」から

今回は、町内の子供たちに、森の恵みで遊んでもらいながら森とのつながりを感じ、みなかみ町の豊かな自然のことを知ってもらうことを目的に「赤谷森林ふれあい推進センター」と「森の恵みと学びの家」が協働で実施した取組について紹介します。

昨年度、「森の恵みで遊ぼう!」と題してプログラムを用意し、新治・月夜野北・藤原小学校のこども教室にお邪魔し、子供達とのふれあいの場を作りました。



一般財団法人  
みなかみ農村公園公社  
いちげ まこと  
市毛 亮さん



内容としては、紙芝居で「森とわたしたち」の物語を話したり、「森のかけらストラップ」を作りながら五感で森の恵みを感じてもらったり、また、大人も一緒になって「どんぐりスプーンリレー」を行ったりしました。

みんな笑顔で夢中になって遊び、時には真剣に話を聞いてく

れたり、私達もとても楽しい時間を過ごすことができました。この取組を通じて、今後の未来を背負う子供達に少しでも地域のことを誇りに持ち、好きになってもらえる嬉しいです。



新治小学校放課後こども教室にて  
(2015.11.18)



北くらら(月夜野北小学校放課後こども教室)にて  
(2016.02.08)



藤原小学校放課後こども教室にて  
(2016.03.25)



色々な活動をしているよ!

## 赤谷プロジェクトの活動

# トピックス



H28.2.8

### 北っくらぶ (月夜野北小放課後子ども教室)

森と人とのつながりのお話とくるみの実りレー、どんぐり転がしなど盛りだくさんで楽しんでもらいました。



H28.2.11

### 赤谷の森自然散策～冬の自然を感じよう!楽しもう!

いきもの村でスノーシューでの散策や雪遊びを楽しんだ後、民話と紙芝居の家で、森や動物に関わる民話や紙芝居を鑑賞しました。



H28.2.18-19

### 業務研究発表

「二ホンジカ被害の『未然防止型対策』の検討と実践(第2報)」と「地域とつながる国有林～赤谷プロジェクトの取組から考える～」を発表しました。



H28.3.19

### みなかみユネスコエコパークイベント

みなかみ町主催のイベントに、赤谷プロジェクトも展示と森の恵みのおもちゃづくりで参加しました。



H28.3.25

### 藤原小放課後子ども教室

森と私たちのつながりのお話とクラフト体験やどんぐり転がしで楽しんでもらいました。



H28.4.29

### 敷島公園まつり 関東森林管理局ブースを技術普及課

とともに出展しました。「森の女神」も参加し、「森のかけらストラップづくり」などで賑わいました。



H28.5.14-15

### 放送大学面接授業

生物多様性の保全と復元、持続的な地域づくりに向けて取り組む赤谷プロジェクトの活動を紹介しました。



H28.5.21

### 赤谷の森自然散策～新緑の三国街道をゆく

新緑の中、ミツバツツジなどを楽しみながら散策し、東屋では民話と紙芝居で心地よい時間を過ごしていただきました。



H28.6.25

### 業務説明会

林野庁への就職を目指す学生などを対象に、国有林の緑を育てる現場の見学とともに赤谷プロジェクトの取組を説明しました。

## 赤谷プロジェクト、って?

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域、自然保護団体、国有林管理者という立場の異なる三者が共に活動するという、全国的にもめずらしい取組です。

活動地域は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる約1万 ha (10km四方)の国有林。ほぼ中央に赤谷川が流れることから「赤谷の森」と呼んでいます。

植物や生き物の調査・研究、環境教育、研修の受入れなど、活動はさまざま。毎月第一土曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポーターが調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※トピックスの詳細は

[赤谷森林ふれあい推進センター](#)

[検索](#)



## 赤谷プロジェクトサポーター募集!

(たくさんの笑顔がまっています (^o^)/)



赤谷プロジェクトは、一緒に活動に加わっていただけるサポーターを募集しています。活動の中で研修の機会を豊富に用意しているため、自然や野外活動の知識や経験がないと心配される方も、学びつつ活動に参加できます。

### ■お問合せ先

(公財)日本自然保護協会：松井・島

### 赤谷の森・基本構想掲載サイト

赤谷プロジェクトの目標や取組内容などについて詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

[http://www.nacsj.or.jp/akaya/ap\\_masterplan.html](http://www.nacsj.or.jp/akaya/ap_masterplan.html) (公財)日本自然保護協会

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/akaya/akayanomori-kihonkousou2015.html> 林野庁関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センター

この情報誌は、間伐材利用の紙を使用しています。

赤谷プロジェクト地域協議会

TEL 0278-25-8777

※森の恵みと学びの案内

理事(事務担当) 市毛 亮

メールアドレス m-ichige@takuminosato.or.jp

(公財)日本自然保護協会【NACS-J】

TEL 03-3553-4107

プロジェクト担当 松井 宏宇

<http://www.nacsj.or.jp/akaya/index.html>

メールアドレス akaya@nacsj.or.jp

林野庁関東森林管理局  
赤谷森林ふれあい推進センター

TEL 0278-60-1272

所長 魚住 悠哉

[http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya\\_fc/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html)

メールアドレス ks\_akaya\_postmaster@maff.go.jp